

第2号様式(その2)(第6条、第7条、第12条関係)

整備項目表(道路)

施設の名称	
施設の所在地	

1 歩道等	(1) 表面は、平坦で、滑りにくい材料で仕上げているか	適	否	
	(2) 車道と分離する縁石、防護柵、植樹帯等を設置しているか	適	否	
	(3) 有効幅員は200cm以上としているか	適	否	
	(4) 勾配の構造			
	ア 縦断勾配は5%以下としているか	適	否	
	イ 横断勾配は1%以下としているか	適	否	
	(5) 歩道等の車道等に対する高さは、5cmを標準としているか	適	否	
	(6) 巻込み部及び横断歩道箇所の車道とのすりつけの構造			
	ア 車道との境界部分の段差は、2cmを標準とし、かつ、車いす使用者の通行に支障のない構造としているか	適	否	
	イ すりつけ勾配は5%以下としているか	適	否	
	ウ すりつけ区間と段差の間に150cm以上の水平区間を設けているか	適	否	
	(7) 横断歩道箇所における中央分離帯と車道とのすりつけは適切か	適	否	
(8) 排水溝に、つえ又は車いすのキャスターが落ち込まない構造の溝ふたを設けているか	適	否		
2 視覚障害者誘導用ブロック	視覚障害者の利用の多い歩道等であるか(非の場合は、アからウまでの記入不要)	該当	非	
	ア 視覚障害者誘導用ブロックを敷設しているか	適		
	イ 識別しやすい色調や明度の差の大きい色の視覚障害者誘導用ブロックとしているか	適	否	
	ウ 横断歩道の中央部に視覚障害者がその位置や横断方向を把握できるよう対策を講じているか	適		
3 横断歩道橋等	(1) 回り段でないか	適	否	
	(2) 表面は、滑りにくい仕上げとしているか	適	否	
	(3) 階段、傾斜路及びその踊場の部分の両側に手すりを設けているか	適	否	
	(4) 昇降口に点状ブロック等を敷設しているか	適	否	

備考 1 各項目について、該当するものを で囲んでください。

2 印欄は、記入しないでください。

3 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判縦とする。